



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2013-2014 年度 No.10

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2013-2014 年度 会長 水島政光、幹事 三角信行

2013-2014 年度 RI テーマ



「ロータリーを 実践し

みんなに 豊かな人生を」

(ロン D. パートン会長)

例 会 記 録

第 1 6 8 7 回例会

平成 2 5 年 9 月 1 1 日(水) 井波文化センター

1. 点 鐘 会長
2. ソング：我らの生業



3. 会長の時間：2020 年東京五輪決定です。56 年前、17 歳高 2 でした。その前の中学の修学旅行は、まさに五輪準備前の東京で、発展著しい時期でした。その後、高卒で、10 年ほど川崎・東京に勤務しました。



4. 幹事報告(三角幹事)：①2013-14 年度富山第 3 分区 IM 開催の案内：11 月 24 日(日)登録受付 14：00、

開会点鐘 14：30。ホテルニューオータニ高岡 4F 鳳凰の間。1 部は泉椿魚氏の講演、2 部は懇親会。そこで、7 RC 会長から、まち自慢スピーチがあります。②地区委員の変更：クラブ奉仕部門 B 会報委員、金平勲委員から、亀山喜好委員へ(どちらも野々市 RC)。③小松 RC から、地区大会に合わせてガイドマップ(回覧)。地区大会の出欠再確認中。④例会変更は事務局に問わあわせを。

5. 委員会報告：①出席委員会 17 名中 12 名出席 (70.59%)

6. ニコニコBOX(SAA：本日 5 名)

横山豊介会員：先週、誕生祝を有難うございました。。

山本武夫会員：本日、代打！拙い卓話でお許しを。さらに幼児の健診で早めに切り上げます。

中島真市会員：敬老の日、小学 1 年の孫が高岡でピアノの発表会にでます。本人より親、親よりじじばが、今から緊張しています。

河合耕一会員：薪ストーブ用の薪を作りました。昨年切った丸太を 2 月に機械で割って、8-9 カ月乾かしたものです。今年はよく乾きました。

助田幸雄会員：スミマセン。議会決算特別委員会、現地視察のため、早退させていただきます。

卓話「韓国の水道水フロリデーション」

山本武夫会員(岩崎会員代理)

日程は、2013年8月25日(日)～27日(火)で、実質、研修日は26日(月)1日が充てられました。

今回の参加者は、NPO法人日F会議から、山内皓央副会長、田浦勝彦専務理事と山本武夫常務理事(学術編集委員長)が引率し、富山県議1名、富山県南砺市議1名の議員2名と、宮崎県福祉保健部健康増進課と宮崎県内保健所健康づくり課から、保健師3名の計8名が参加しました。



参加者の中で、山辺美嗣富山県議(元議長)は、第33回むし歯予防全国大会 in 富山(2009年11月14日)の大会会長で、その時の基調講演講師の金鎮範釜山大学教授との再会を楽しみに参加されました。富山の大会は、ちょうど各県で条例制定を目指す時期でしたが、富山でも山辺県議の尽力で、フッ化物応用推進も含む内容で、今年2013年9月に議員提案で可決予定です。今回は、水道水フロリデーションの視察に参加され、日本での実現に向けてのオピニオンリーダーになって頂きたいと期待しています。

今回の日程は、昌原(チャンオン)市大山(デサン)浄水場の水道水フロリデーション施設を見学し、次いで、昌原中心保健所を訪問、口腔保健事業と母子保健事業の説明を受け、ディスカッションをしました。最後に、昌原市議会を訪問しました。

昌原(チャンオン)市大山(デサン)浄水場は、第1回(2010年7月)と第3回(2012年3月に続き、今回で3回目の訪問です。現在の統合昌原市(109万人)は、2010年7月に、旧昌原市(50万人)と旧馬山市(41万人)と旧鎮海市(18万人)が合併し誕生しました。その中で、旧鎮海市は1981年韓国で最もフロリデーションを早く開始し、現在も15万人がその恩恵を被っています。旧昌原市にある大山浄水場は、2001年工事を開始、2007年に完成、給水を始めました。旧昌原市の11洞(町)23万人に1日6万トン进行供給しています。(従って、まだ71万人はフロリデー

ション水を供給されていません)。統合昌原市では、2008年11月より、韓国で初めての緩速濾過法という方式で、水道水フロリデーションを実施しています。川岸の地下50mに貯水層を作り、約45日も何層もの地層を自然濾過されてためられた清浄な原水をくみ上げてから、浄化するものです。今回の訪問では、新しい浄水場本部前に広場に、地下からくみ上げた原水と、浄化された家庭に供給前のフロリデーション水が蛇口をひねると出るようになっており、参加者全員でコップで飲料して記念撮影をしました。地下からの原水も、全く透明な清浄な水でした(考えてみれば質の良い井戸水ですから、当然です。)課長のキム・チョンテさんから、施設案内があり、冷たいペットボトルのフロリデーション水をお土産に頂きました。大山浄水場のフロリデーション設備には2億ウォン(国5千万ウォン、市1億5千万ウォン)かかり、現在の1年のフッ化物購入費は、3千万ウォン(国50%、道20%、市30%)です。

昌原市中心保健所では、リー・ブーオク所長の挨拶の後、口腔保健担当のモン・スンミョンさん(歯科衛生士)が、昌原市の口腔保健事業について説明され、続いて、母子保健担当のチョ・ヒャンクさんが説明されました。2006年より、胎児の奇形予防に葉酸剤を支給しているという進んだ事業の紹介もありました。

今回の日程の最後は、昌原市議会を訪問し、昌原市水道水フロリデーション事業の実施に尽力された、ガン・ギイル議員と懇談、実施に至る経緯や議員としての考え方など、多くの質問にお答えをして頂きました。富山から参加の2人の県議・市議からも細に入り、微に入る質問もあり、極めて日本では難しそうな事柄にも、ガン議員は自信を持って、「絶対にあきらめず、やろうという意思があれば、可能性があります。」と応えられました。

